

最新フィッシング動向とDMARC運用のポイント

- 楽天におけるDMARC対応の歩みとBIMIの導入 -

2023年1月26日

楽天グループ株式会社

テクノロジーマネジメントディビジョン

情報セキュリティ・プライバシーガバナンス部

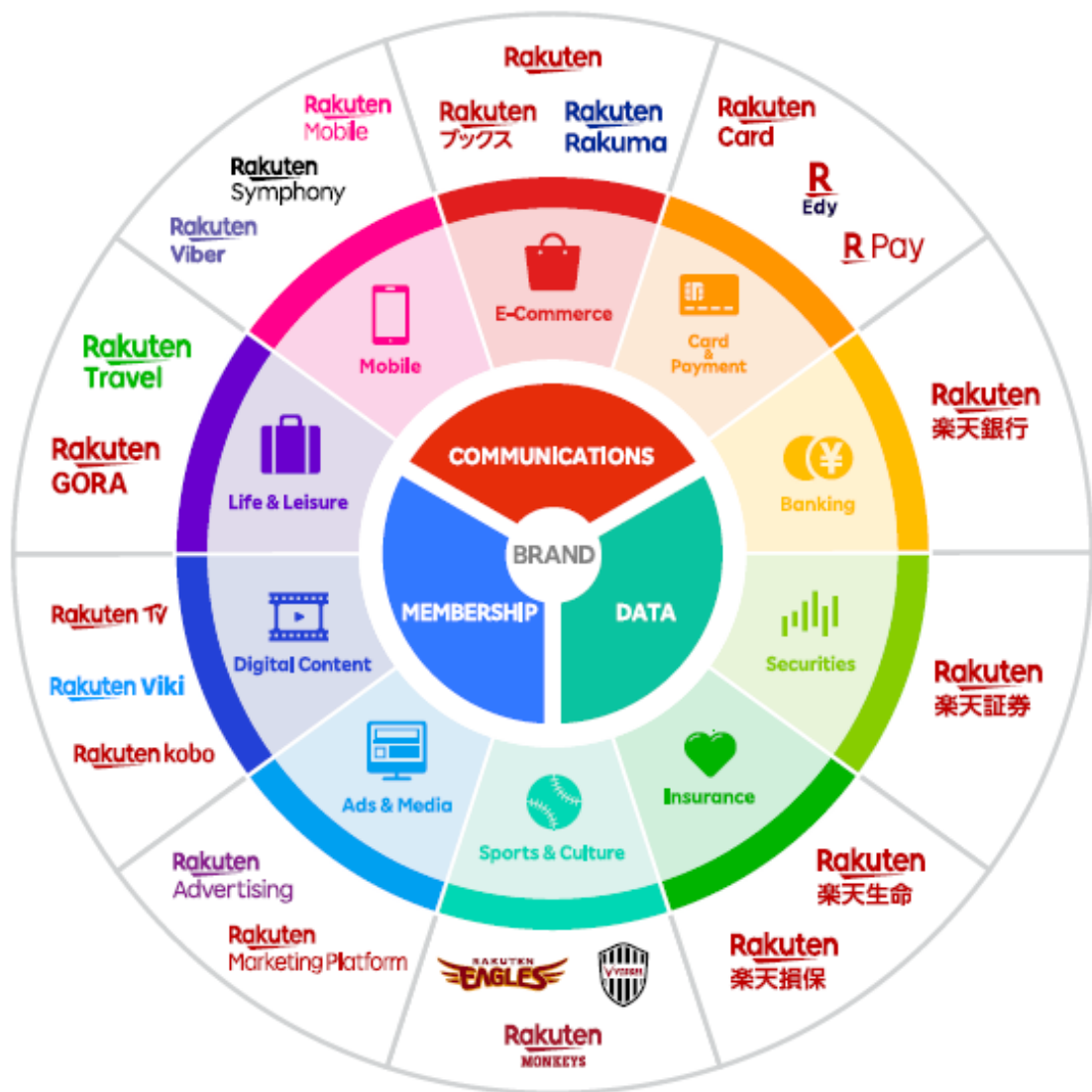
高田 加菜江



アジェンダ

- 楽天グループ・楽天グループ株式会社紹介
- 楽天サービスにおけるDMARC対応の歩み
- DMARC “p=reject” 適用の効果と課題
- BIMI導入について
 - BIMIとは
 - BIMIの仕組み
 - 楽天サービスにおけるBIMI導入状況
 - BIMI導入による効果と今後のアクション
 - BIMI導入、運用時における考慮事項（苦勞したところ）

楽天グループ・楽天グループ株式会社紹介



MISSION ミッション

イノベーションを通じて、 人々と社会をエンパワーメントする

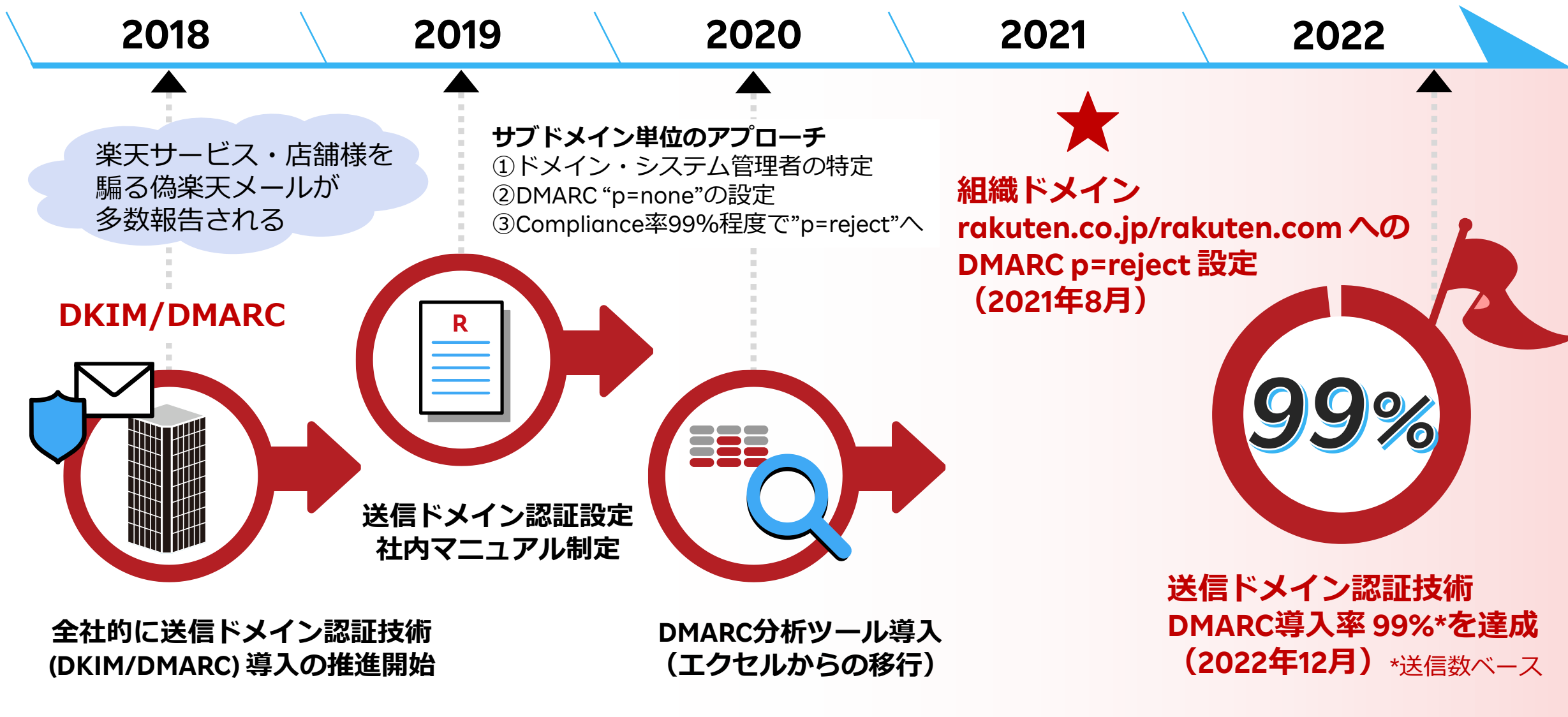
楽天グループは、Eコマース、トラベル、デジタルコンテンツなどのインターネットサービス、クレジットカードをはじめ、銀行、証券、電子マネー、スマホアプリ決済といったフィンテックサービス、携帯キャリア事業などのモバイルサービスといった多岐にわたる分野で**70以上のサービスを提供**

出典:コーポレートレポート2021年12月期

サービスに対応したドメイン、サブドメインから注文、発送等、**各種お知らせのメールを送信**

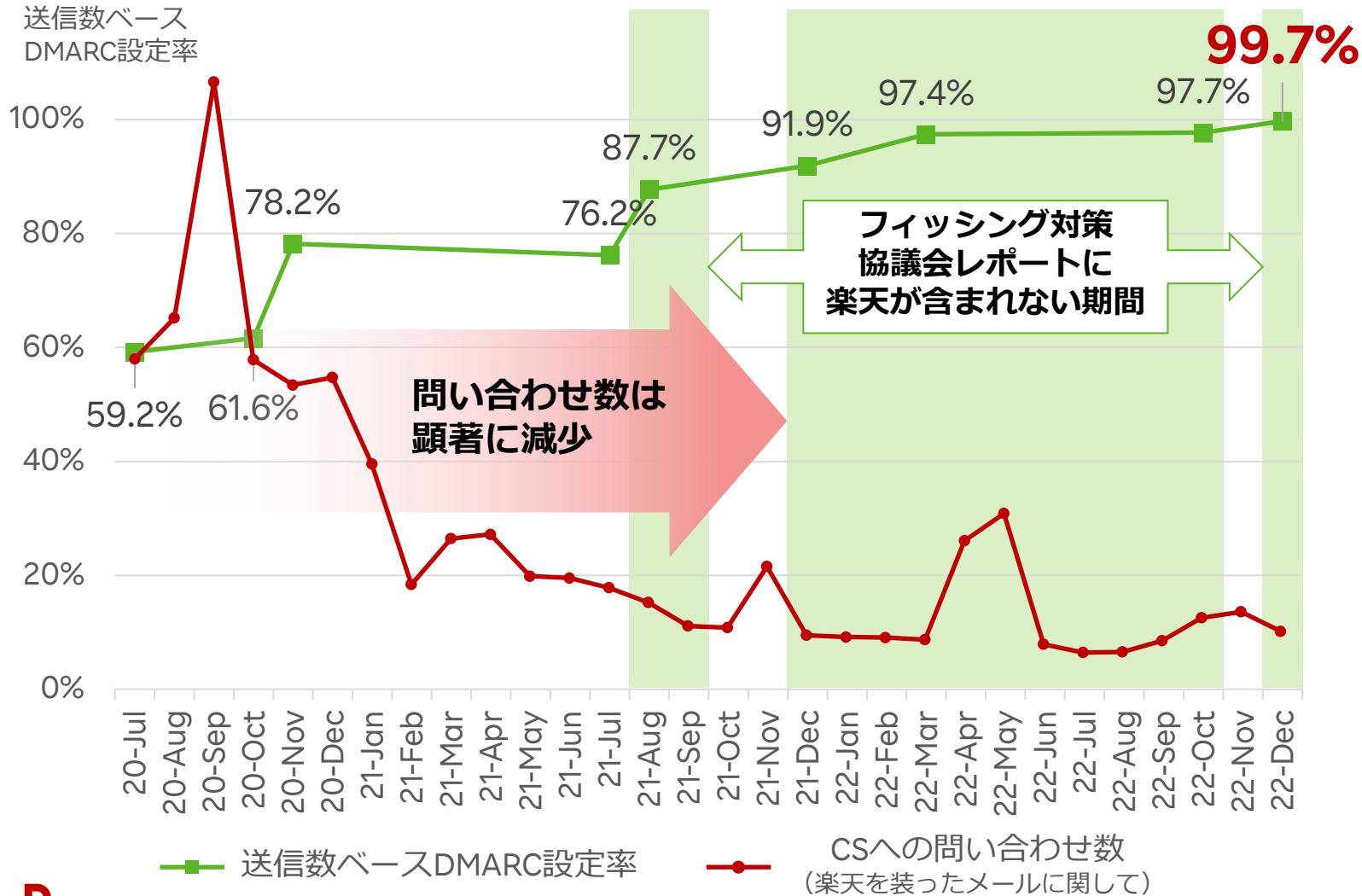
メール送信ドメイン 350以上！

楽天サービスにおけるDMARC対応の歩み



DMARC “p=reject” 適用の効果と課題

DMARC設定率とカスタマーサービスへの問い合わせ数の比較



問い合わせ状況

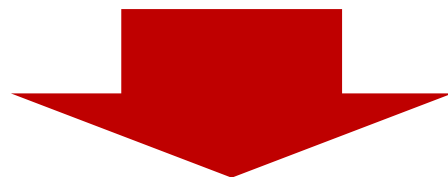
- 不定期にスパイクが発生
 - このメールは本物か、という問い合わせが多い
- ユーザ自身でメールを判別 できる仕掛けが必要

偽メールの傾向

- 非楽天ドメインを使用 (見た目のみ楽天)
- DMARCでは対応できない、非楽天ドメインによる偽メールへの対策が必要

ユーザ自身でメールを判別
できる仕掛けが必要

DMARCでは対応できない、
非楽天ドメインによる
偽メールへの対策が必要



BIMI (ビミ) を導入しよう！

BIMIとは

BIMI

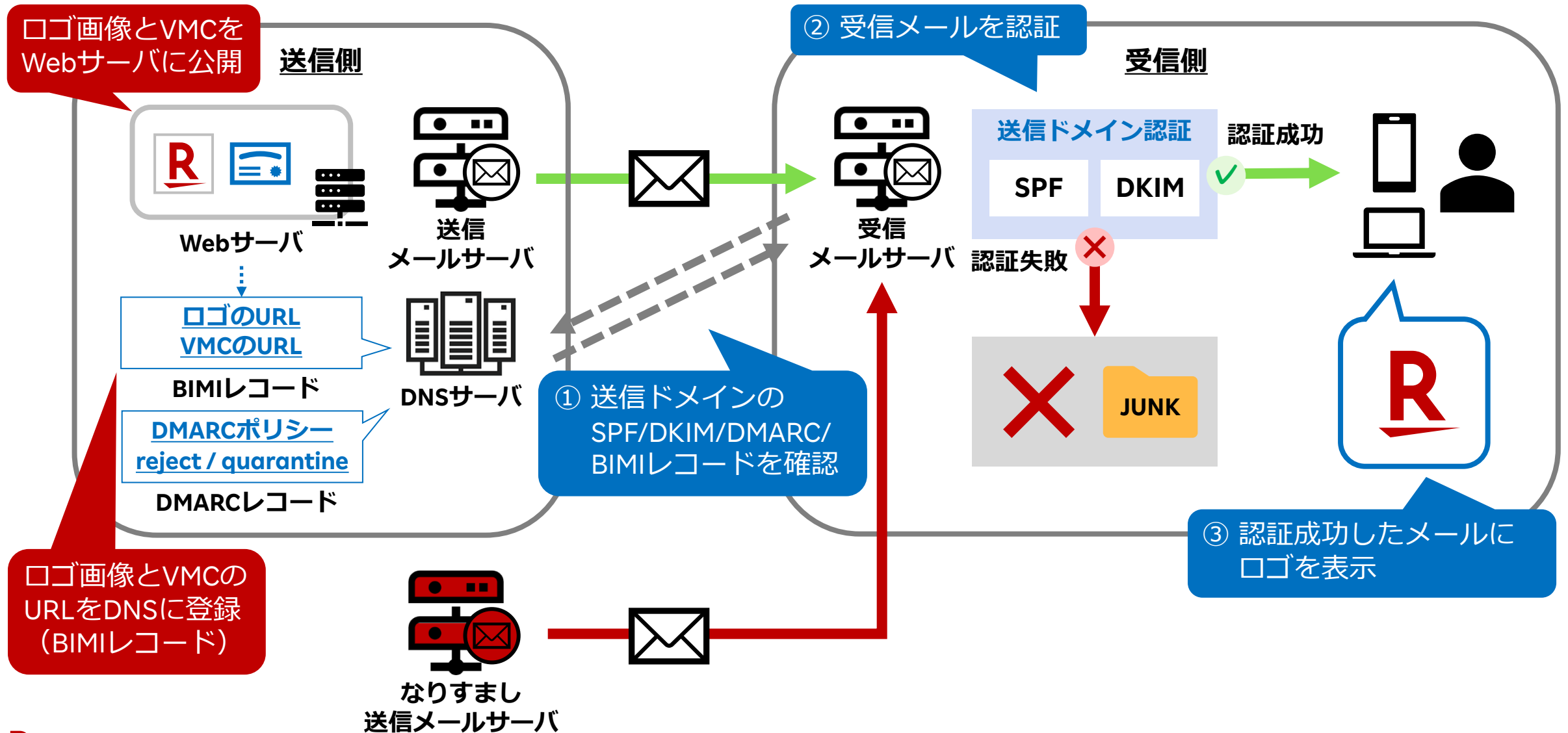
(**B**rand **I**ndicators for **M**essage **I**dentification)

- 送信ドメイン認証に成功した正規のメールのみ、UI上にブランドロゴ（アイコン）を表示するための規格です。
- 新しい規格であり、2020年以降Yahoo! (US)、Google、Appleなどで導入が進められています。
- 要件を満たしたブランドロゴおよびドメインに対し、**VMC（Verified Mark Certificate / 認証マーク証明書）**が認証局により発行されます。
これにより、メールサービスはメールの信頼性を確認した上で送信者のブランドロゴを表示できるようになります。
- VMCの発行には、送信ドメイン認証技術である**SPF、DKIM、DMARC（「p=quarantine」または「p=reject」のいずれか）の実装が必須です。**

- ✓ メールの識別性、信頼性向上
- ✓ ブランドインプレッションの獲得



BIMIの仕組み

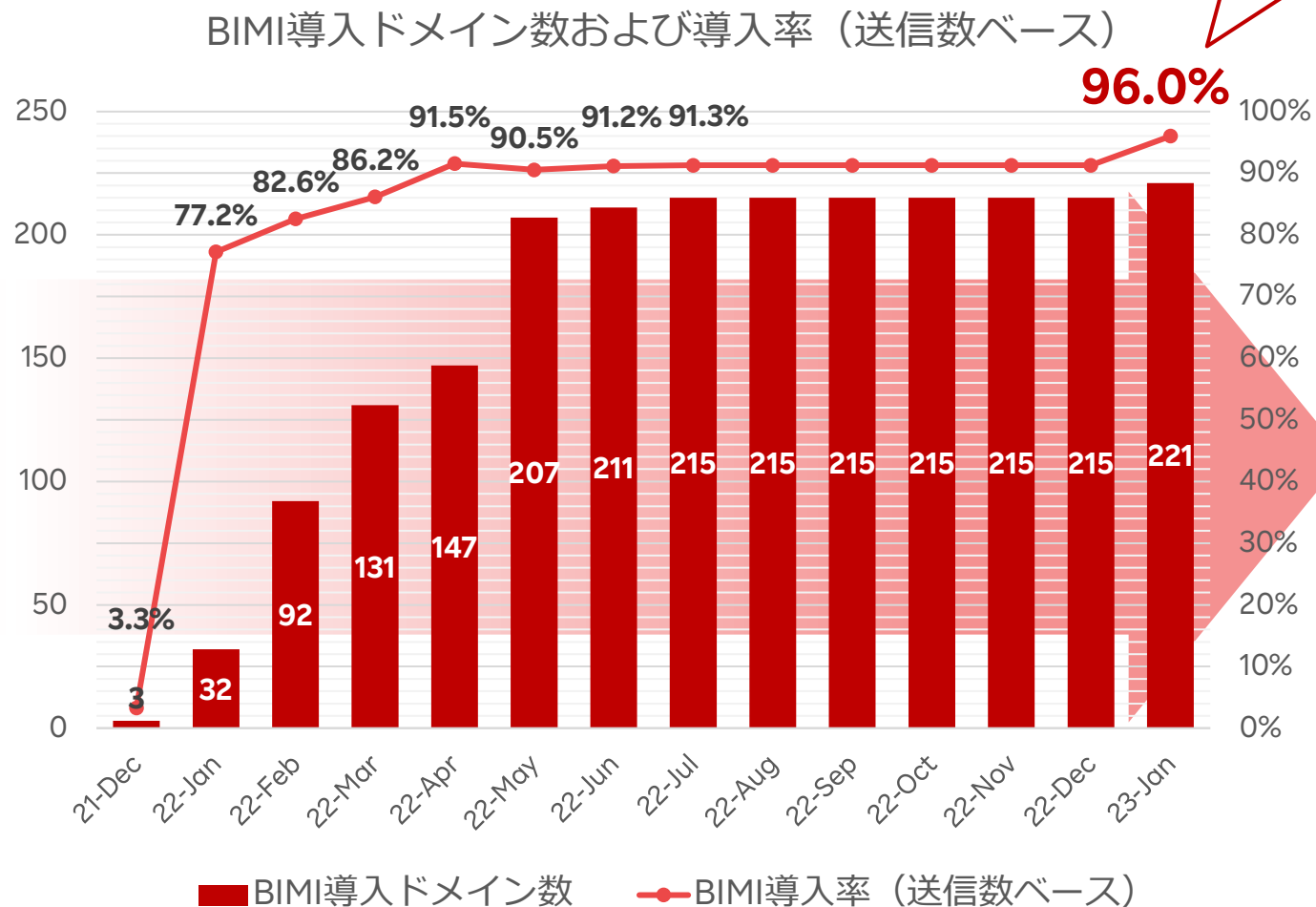


楽天サービスにおけるBIMI導入状況

2021/12/21 リリース時点

2023/1/25 時点

楽天銀行
ロゴ表示開始



BIMI導入による効果と今後のアクション

ドメインを運用している事業への訴求力

- グループ内事業からロゴを表示したいがどうすればよいかという問い合わせがあった
⇒ **DMARC p=reject 対応が促進された**

ユーザ側でのフィッシングメール開封率

- ロゴ表示が要因と考えられる顕著な開封率の変化は認められなかった
⇒ **ユーザにBIMIおよびロゴ/マーク表示対応プラットフォームの利用を推奨予定**

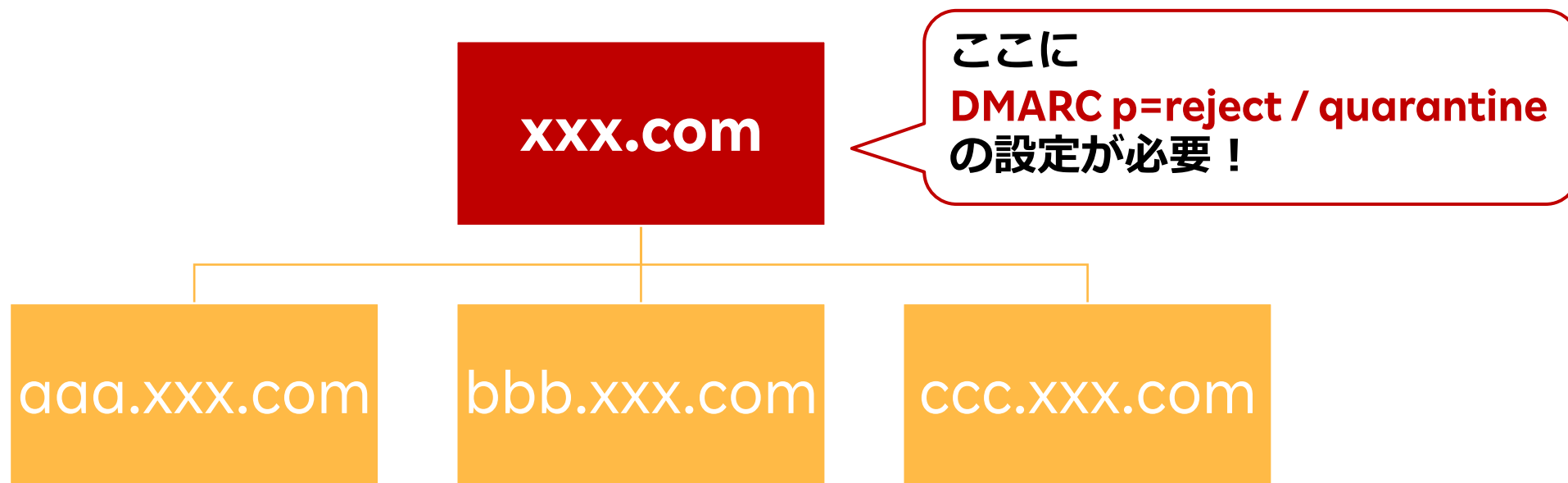
ブランディング効果

- 他企業のBIMI導入がまだ多くないこともあり、かなり目を引く印象
⇒ **スポーツチームのエンブレムなども表示させていきたい**

BIMI導入、運用時における考慮事項（苦労したところ）

組織ドメイン（親ドメイン）でのDMARC p=reject / quarantine 設定の必要性

- サブドメインのみにBIMIを実装する場合でも、組織ドメインでのDMARC p=reject / quarantine 設定が必要
⇒ DMARCの仕様（サブドメインでの設定のみで有効）と異なるため、対象ドメインの選定時、盲点となった



BIMI導入、運用時における考慮事項（苦労したところ）

ロゴ画像の制限

- **ロゴの形状・絵姿がアイコンサイズに合っているかどうか**
 - 文字列（社名など）はつぶれてしまう可能性あり
 - ロゴ自体に背景の枠はない方がよい（メールで表示する際、ロゴが小さく見えてしまう）
- **ロゴにカラーバリエーションを持たせたい場合は登録商標に色情報は含めない**
⇒ 色情報を含めると、同じ形状でもその色指定以外のバージョンは使用できない
- **登録商標の情報とVMCへの登録情報は一致させる**
⇒ 社名を変更したため、登録商標の更新作業が追加発生



BIMI Inspector

<https://bimigroup.org/bimi-generator/>

でロゴが表示された時のイメージが確認できます！

BIMI導入、運用時における考慮事項（苦労したところ）

ブランディングの観点での検討

- **マーケティング部門との調整**

⇒ フィッシングメール対策の観点からは、技術的要件を満たしたドメインに対しては即時BIMIを実装し、ブランドロゴを表示させる想定だったが、ブランディングの観点から、表示させるロゴの種別やロゴを表示させないドメインについて検討が必要とのことで、マーケティング部門との調整に時間を要した



BIMI導入、運用時における考慮事項（苦労したところ）

BIMI対応メールサービスごとの仕様の違い

- 受信一覧画面ではアイコンを表示しないメールサービスもある
- BIMI以外の機能でロゴやアイコンが表示される場合がある（プロモーションなど）

● Gmail



一覧画面でBIMIによるロゴを表示
⇒ 開封して確認する必要なし

● Appleメール



“詳しい情報”をクリックすることで
検証された送信ドメインを表示



参考：<https://corp.rakuten.co.jp/security/anti-fraud/>
(メールサービス各社における楽天ブランドシンボル・公式アカウントマーク表示について)

BIMI導入、運用時における考慮事項（苦労したところ）

運用にかかるコスト（費用、工数）

- **VMC、登録商標のランニングコスト**
⇒ 登録、更新により継続的に費用や作業が発生する
- **ドメイン数の増加によるコスト**
⇒ VMCにドメイン追加費用が発生、またBIMIレコードの登録作業も発生

ドメインガバナンスは重要...

最後に（今後への期待）

レポートも!

DMARC & BIMI

をサポートするメールサービスプロバイダが
もっと増えるといいなあ...

ご清聴ありがとうございました

Rakuten

The Rakuten logo is centered on a solid red background. It consists of the word "Rakuten" in a bold, white, sans-serif font. A white, horizontal, trapezoidal shape is positioned below the letters "a" and "k", pointing to the right and slightly upwards, creating a stylized underline or shadow effect.